

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人まごころ	代表者	吉田弘	法人・事業所の 特徴	地域の交流を深めるために、地域の美化活動や地域の行事にも積極的に参加している。毎年夏の「まごころ祭」には、地域の方が多く参加されている。職員の資質向上のため、毎月2回の全職員会議を開催し、研修や各事業所の課題を共有し、サービス共有に取り組んでいる。また、施設長の福祉事業に対する思いを管理者や全職員が理解し、一緒に取り組む姿勢は利用者や家族に感動を与え、「まごころを選んでよかった」と深い信頼関係の構築に結びついている。
事業所名	小規模多機能ホーム宅老所まごころ	管理者	塚崎純枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	人	1人	1人	人	4人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今回も引き続き、より一層介護の質を向上していくために、全職員で取り組みを強化し、計画が確実に達成できるようにしていく。	コンサルタントと連携して人事評価制度を整備し、職員の質の向上を図ってきた。そのことより、職員一人一人の意識に変化がみられた。	人材育成計画及びスキルアップについて、職員全員に行われており評価できる。さらには、資格、経験年数、習熟度に応じた研修の計画ができれば、さらに良い。	業務を実行するにあたり、他の部署との連携が重要であることを再認識し、それぞれの部署等が、興味関心を持てる様に取り組んでいく。個别人材教育に関しては、一人一人のスキルを高めるために、それに応じた計画を実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後引き続き、利用者、ご家族等が、快適に利用できるよう環境整備に努めていく。また、防犯のため施錠しているときもあるが、今までのように利用者から要望があればいつでも自由に外出できるようにしていくとともに、防犯対策と地域の関わりの促進について、全職員で考え、工夫を凝らしていく。	防犯のため施錠しているときもあるが利用者や家族からの要望があれば自由に外出する機会を定期的に増やした。(買い物や花見等)その結果、利用者の表情が以前より明るくなった。また施設に、近寄りたいたいというイメージが定着しないよう、地域と交流ができるイベントの開催(ボランティアによる楽器演奏会・小学生による介護の職場訪問等)により、地域の方が気軽に立ち寄れる機会が増えた。	施設内はもとより、居室内においてもレトロ感が漂い落ち着く雰囲気でも感じもよい。安心して安楽に過ごせる空間として、新たな設備が投資され、(介護ロボット)利用者の満足度は向上しているようだ。今後も利用者が安全安楽に利用できるよう安全の確保や防犯対策を充実させてほしい。	新たに設備した介護ロボットを積極的に活用し、職員や利用者の安全安楽に努めていく。施設の安全性を高めるために、定期的に施設や設備の点検を行い、危険な箇所を改善していく。
C. 事業所と地域のかかわり	今後さらに職員の資質向上を進めるため、接遇マナー等の研修を積極的に行っていく。また、地域に密着した介護施設として、これまでの取り組みを継続するとともに、気軽に立ち寄りやすい立ち寄りやすい催し物等の取り組みを行っていく。	接遇マナー等の研修を積極的に行い、質の向上をすすめた。毎年恒例になっている「まごころ祭」も開催し地域の敬老会をはじめほかの行事にも積極的に関わっている。また、今年もオープンカフェを開催した。案内のチラシや前回来所者等に案内ハガキを送ったこともあって、参加者も増えてきた。さらに、こうした取り組みの中から利用者の増につながっている。	恒例の「まごころ祭」「オープンカフェ」の開催等、チラシやハガキで通知していることで、地域とのかかわりが深まっている。また、5行政区の敬老会にも「演芸披露」や介助者としても参加し地域の行事を支えている。この取り組みを引き続き行っていただきたい。	地域の方と関わりを深めるために、これまで取り組んでいるイベントを継続していく。田川市が推進している認知症カフェの取り組みに積極的に関わっていく。また、地域との関わりをさらに深めるため新しいイベント等も検討していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今後も地域の行事等に利用者と共に積極的に参加し、少しでも本人のものと暮らしが継続できるよう支えていく。	利用者と共に地域の行事である田川中学校校区活性化協議会のサマーフェスティバル等に参加した。また、近隣行政区の盆踊り大会に参加するなど「まごころ」を利用する前の生活環境に近づける機会を増やすことができた。	「まごころ」を利用する前の暮らしに少しでも近づけるため、地域の行事へ積極的に参加していることが確認できた。大変であると思うが、地域への行事参加については参加する利用者を増やすことも検討してほしい。	地域イベントには今以上に参加を増やしていく。さらに登録利用者ができる限り自宅で生活できるよう、これまで以上に夜間の訪問を充実させ、本人の暮らしを支えていく取り組みも強めていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も事業所の取り組み内容や、課題等、運営推進会議に報告し、検討の結果導きだされたことや、意見・要望等も事業所運営に反映させていく。	運営推進会議で出された意見を取り入れ、小規模多機能のサービスを多く知って頂くため、地域はチラシやパンフレットの配布を行った。また、田川地域内・外の医療機関等との情報交換を進めてきた結果、利用者の紹介や利用者・家族の見学が増えてきた。	地域にチラシやパンフレットの配布をすることだけでなく、田川市内外の病院等と密に連携を行い、情報の交換を進めてきたことで、医療機関からの受け入れ要望もあっているようだ。今後も運営推進会議に様々な情報提供を行っていただき意見・要望を出させていくので、良い意見だとおもわれたら積極的に反映してほしい。	運営推進会議で出された意見を反映した結果、利用者増につながっているため、今後も事業所の取り組み内容や課題等、運営推進会議に報告し、検討結果導き出されたことや意見・要望等も事業所運営に反映していく。
F. 事業所の防災・災害対策	今後も、地域の防災訓練等にも積極的に参加し、事業所の防災訓練等にも運営推進会議メンバーをはじめ地域の方の参加をお願いしていく。また、災害に備えて食料品等の備蓄について、内容の充実を図り、災害時の避難場所としても利用者をはじめ、地域の方々に活用していただくよう環境整備に努めていく。	事業所の防災訓練等に、運営推進会議のメンバーや、近隣住民の方の参加を呼びかけを行った結果、少しずつ参加者が増えた。引き続き、災害時に備えて備蓄品の内容充実を図った。	事業所で行う避難訓練を知らせてくれるので、参加しやすくなった。今後も知らせてほしい。引き続き、防災・減災対策に力をいれて、利用者の安全の確保に努めてほしい。	地域の防災マップを確認しながら、常にマニュアルを見直し、防災・減災対策を進めていく。